

荘銀かねやま絆の森

株式会社荘内銀行

フィデアグループサステナビリティ方針

荘内銀行は、「フィデアグループサステナビリティ方針」に掲げる5つの重要な社会課題の解決に取り組むことを通して、地域社会・地域経済の持続的な発展に貢献するとともに、当グループの企業価値向上を目指してまいります。



第4期協定期間 3か年計画

所在地 金山町大字金山地内 面積：49.65ha
協定期間 第4期 2023年4月1日～2025年3月31日
協定者 荘内銀行、(有)三英クラフト、山形県、金山町
活動内容 荘内銀行は、二酸化炭素の吸収源確保や生物多様性の保全、環境教育の実践と参加者相互のコミュニケーション活性化を目的に、金山町で森づくり活動を展開。協定者が連携し、これまで植林、下刈り、裾枝打ち・つる切りなどの保育活動のほか、自然観察体験、林産資源活用体験、木工クラフト体験、再生エネルギー勉強会など、森に関わる様々な体験活動を行い、森林の保全や活用に関する重要性について理解を深めてきました。第4期協定期間では、「持続可能な地域社会の実現に向けた学びと実践」をテーマに、育林活動などの現地活動に加え、ワークショップやセミナーといった啓発機会も企画しています。

年次	活動計画概要	内容
2023年度	・枝打ち体験 ・サステナビリティ・ワークショップ	・荘銀かねやま絆の森での枝打ち体験 ・カーボンニュートラル ワークショップ
2024年度	・大美輪の大杉整備活動 ・下刈り体験など	・金山町で森づくり活動を行う富士フィルムBI(株)と共催で森づくり活動を展開
2025年度	・枝打ち・つる切り体験 ・サステナビリティ・セミナー	・荘銀かねやま絆の森での育林作業 ・実社会との結びつきを意識した事業を企画中

2024年度森づくり活動：①育林活動・環境整備

実施日：2024年5月18日(土)

参加者：総勢65名(うち当行関係者24名)

2024年度森づくり活動は、活動15年を記念して、同じく金山町で活動する富士フィルムBI山形様と共催で、「大美輪の大杉」環境整備や「かねやま絆の森」(富士フィルムBI山形協定地)等での育林活動、生育調査を実施。

育林活動：下刈り作業、生育調査

2019年に植林した杉の6年生林では、若い造林木の生育を妨げる雑草等を刈り取る下刈り作業を実施。15年生林では生育状況調査を行いました。

環境整備：遊歩道、林道等整備

「大美輪の大杉」の遊歩道に新しい木チップを敷設し、駐車場の砂利均し作業を実施。「荘銀かねやま絆の森」では林道の草刈り作業を行いました。

【参加者のコメント】

- ・先輩が植林した場所での作業だったが、杉は15年が経ち自分たちの背丈の3倍以上になり、その大きさから先輩の思いを感じることができて良かった。
- ・樹齢300年の大杉を見て、その後15年生の杉のこの先50年後の姿を想う活動となり、普段とは違った想像を掻き立てられた。この先20年、30年と活動が続いて欲しいと思った。



2024年度森づくり活動：②講義「森林保全と地球温暖化の影響」

タイトル：スギ林の調査結果は？～地球温暖化とのかかわりとともに～

講師：やまがた森林と緑の推進機構 浦田 格 氏(樹木医)

①スギ林の測定結果(林齢15年生)

平均樹高10.5m 平均胸高直径18.8cm

②65年後(林齢80年生)想定

平均樹高37.4m 平均胸高直径51.9cm

③どれくらいCO2を固定するか → 絆の森全体(4.28ha)で約13,759t
荘内銀行本店ビルのCO2排出量に換算すると約13.8年分相当

◆温暖化が進むと、森林自体もさまざまな悪影響を受けるため、温暖化対策としての森づくり、木づかいを進めることが大切。



荘内銀行

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。